

「水道水 安心・安全 これからも」 水道週間イベント

■水道週間中、市内でさまざまなイベントを開催

6月1日から6月7日まで、さまざまなイベントが開催された「第65回水道週間」。期間中には多くの方が参加し、普段何気なく使っている水道について理解を深め、水の大切さを再確認しました。

◆「北上川クリーン作戦」◆

登米市の水道の主な水源となっている北上川。その堤防を美化し安全を守るため、下り松取水塔周辺（登米町内）の堤防を清掃する「北上川クリーン作戦」が6月1日（木）に実施されました。

当日は天候にも恵まれ、個人、団体、企業など、121 人もの方が参加し、午後3時から4時までの約1時間、北上川堤防の清掃作業に汗を流しました。

作業では、ゴミ袋を手に堤防や河川内に落ちているビニール類やペットボトル、空き缶、空き瓶などを拾いました。

たくさんのごみが回収されましたが、そのほとんどが家庭から出るものであり、参加した一人ひとりが、改めてごみの投棄根絶や継続的・定期的な清掃活動の大切さを認識しました。

ご協力をいただいた皆さん、大変ありがとうございました。



今年度も多くの方々にご参加いただきました。



清掃中の様子



河川敷に流れ着いたごみなども、回収することができました。



今年もたくさんのごみが回収されました。

◆「園児によるヤマメの稚魚放流」◆



北上川がいつまでも魚が住めるような綺麗な川であるように願いを込めて、6月6日（火）に水辺プラザ船着場（登米町）で、登米北上こども園の園児 25 名と登米幼稚園の園児 8 名がヤマメの稚魚を放流しました。

園児たちは、ヤマメの稚魚が入ったバケツを嬉しそうな表情で受け取ると、川岸へ向かい稚魚を放流し、元気良く北上川へ泳いでいく稚魚を見守っていました。



ヤマメの生態について、かっぱの会の方から説明を受けました。



稚魚の入ったバケツを受取った園児たちは、慎重に川岸へと向かいました。



川岸から、ヤマメをゆっくりと放流していました。



園児たちは、放流したヤマメが泳いでいくのをずっと見守っていました。